

粗悪学術雑誌”ハゲタカジャーナル”に対する注意喚起

弘前大学研究・イノベーション推進機構

ハゲタカジャーナルとは？

査読誌であることをうたいながら、著者から論文投稿料(APC)を得ることのみを目的として、適切な査読を行わない、低品質かつ悪質なオープンアクセス形式のジャーナルです。昨今、急激に増加しており、注意が必要です。

ハゲタカジャーナルに投稿すると

- ・ 著者自身の信頼・評価が低下する恐れがあります。
- ・ 論文の完成度が低くなり、他の研究者から引用される可能性が低下します。
- ・ 投稿料に関してトラブルが発生する恐れがあります。
- ・ 出版社が投稿撤回を認めず、他のジャーナルへの再投稿ができなくなる恐れがあります。
- ・ 論文の長期的なアクセスが担保されない恐れがあります。

ハゲタカジャーナルの特徴

- ・ 掲載されている論文に不審な点が多い。対象分野と大きくかけ離れた論文が掲載されている。
- ・ 編集責任者が明確でない。
- ・ 査読の時間が極端に短いことを確約している。
- ・ 論文の著作権の取り扱いが明示されていない。もしくは出版社が保持すると記載されている。
- ・ 論文投稿料が明示されていない。
- ・ 研究不正や利益相反についての方針が明記されていない。
- ・ ジャーナルが刊行停止になった際、論文へのアクセスがどうなるかが明記されていない。

ハゲタカジャーナルへの投稿を防ぐには

健全なジャーナルをまとめた下記のホワイトリスト、チェックリストを参照してください。

ホワイトリスト	Directory of Open Access Journals (DOAJ) ※厳格な審査を通過した OA ジャーナルを収録	https://doaj.org
	Quality Open Access Market (QOAM) ※OA ジャーナルの APC や品質に関する情報提供	https://www.qoam.eu/journals
	Web of Science ※収録基準を有する文献 DB	http://mjl.clarivate.com
チェックリスト	Think Check Submit ※信用できるジャーナルを選ぶためのチェックリスト	https://thinkchecksubmit.org

※ ホワイトリストは、あくまで判断の目安であり、ホワイトリストに収録されていないものが全て悪質なジャーナルであるというわけではありません。

※ この文書は、京都大学図書館機構の「ハゲタカジャーナルに関するリーフレット」を参考に作成しました。<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/1380558>